

## 関連事業所のご案内

同グループに介護老人保健施設、エスペラル近江八幡を有しており、退院後も充実の体制でフォロー致します。介護・看護不安についてお気軽にご相談ください。

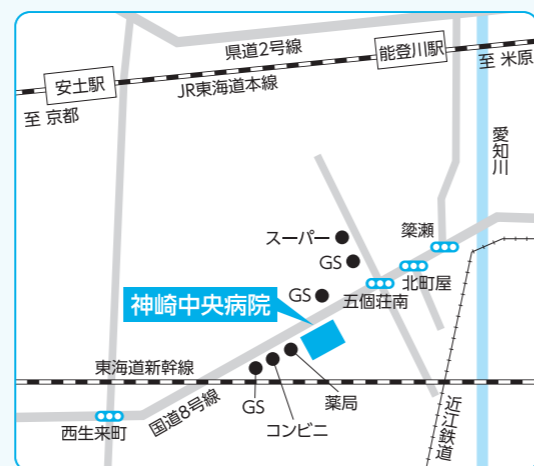
- 介護老人保健施設エスペラル近江八幡
  - ・短期入所療養介護
  - ・通所リハビリテーション
  - ・訪問リハビリテーション

〒523-0071 滋賀県近江八幡市大房町 1002 番地 1  
TEL 0748-32-1165 FAX 0748-32-1190  
<https://esp.iseikaihp.com/fcl/esp-omi/outline.html>



### 交通のご案内

JR能登川駅、JR近江八幡駅、JR安土駅、近江鉄道八日市駅、近江鉄道五個荘駅から無料循環バスをご利用いただけます。

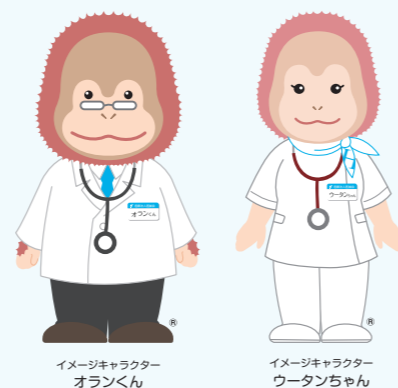


### お問い合わせ

入院相談や病院見学をご希望の際は、地域医療連携室までお問い合わせください。

地域医療連携室

FAX (直通) 0748-48-5722  
E-mail [chiiki@kanzakihp.com](mailto:chiiki@kanzakihp.com)



イメージキャラクター  
オランくん

イメージキャラクター  
ワータンちゃん

## 回復期リハビリテーション病棟 ご案内

明日の健康と幸せを見つめ、地域に“信頼の医療”で貢献します。





# 医療法人医誠会 神崎中央病院

自然に恵まれた心安らぐ好環境の中、人々の医療・保健・福祉ニーズに応える中核病院として、地域の総合医療体制の一翼を担う神崎中央病院。「あくまで中心は患者さん」をコンセプトに、最新の医療設備と専門スタッフの充実を図りながら、確かな診断、暖かい治療、優しい看護に取り組んでいます。

## 病院概要

名称 医療法人医誠会 神崎中央病院  
 所在地 〒529-1445 滋賀県東近江市五個荘清水鼻町 95 番地  
 開設者 医療法人医誠会 理事長 谷 幸治  
 病院長 有吉 秀男  
 病床 400 床  
 回復期リハビリテーション病棟 32 床 (3B病棟)  
 診療科目 内科、外科、整形外科、人工透析内科、リハビリテーション科

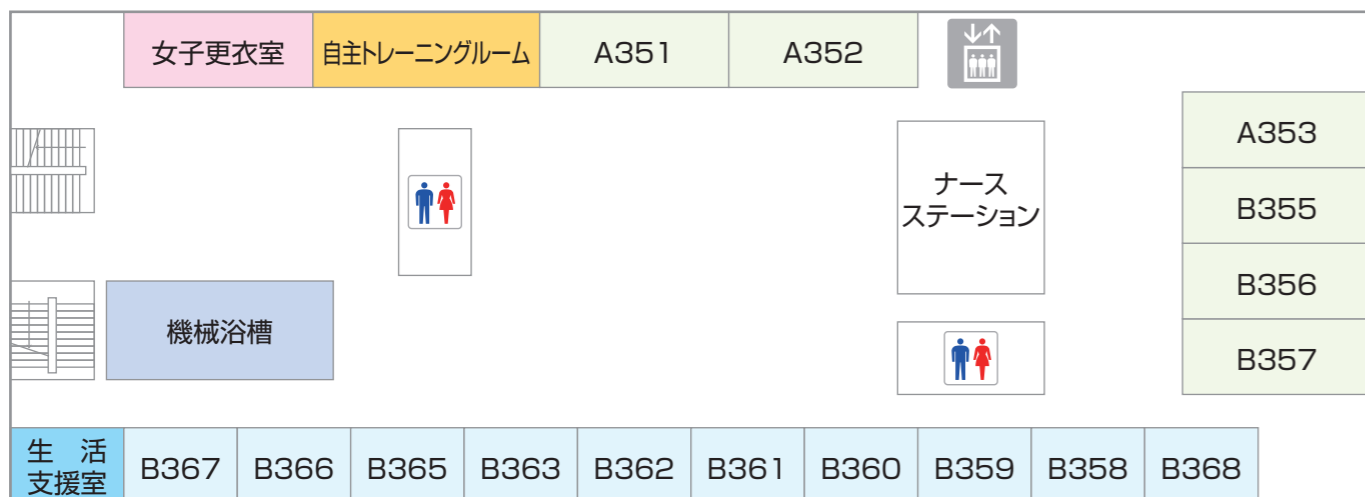
# 当院の回復期リハビリテーション病棟の特徴

- リハビリは1日2単位以上、患者さんにあわせて1日1～3時間のリハビリを行っています。
- リハビリは、日、祝日をふくめた 365 日を担当制で行っています。
- 排泄はトイレへ誘導し、オムツは極力使用しないよう支援します。
- 日中は普段着で過ごし、更衣は朝夕行えるように支援します。
- 退院後の患者さんの身体状況に応じた生活場面での役割づくりや、趣味・生き甲斐づくりを提案します。
- グループ施設の介護老人保健施設エスぺラル近江八幡などグループ内外の事業所と連携した支援を提供します。
- 高次脳機能障害を有する患者さんも積極的に受入れています。
- 復職支援を希望される患者さんも積極的に受け入れています。

## 病院内配置図



3B 病棟 部屋数：個室 10 床 (B358～B368)、多床室 6 床 (A351～A353、B355～B357)



## 治療対象疾患

回復期リハビリテーション病棟の対象となる疾患名	入院上限期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、クモ膜下出血シャント手術後、急性脳症、脳炎、脳腫瘍、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態または、義肢装着訓練を要する状態	150 日以内
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	180 日以内
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症または手術後の状態	90 日以内
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	
股関節または膝関節の置換術後の状態（損傷後 1 ヶ月以内）	60 日以内
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後の状態	

## 透析患者さんの対応について

当院では、回復期リハビリテーションを必要とされている透析導入患者さんの入院も受け入れています。当院3階の人工透析室で維持透析を受けながら患者さんの状態に応じたリハビリテーションプログラムを作成します。詳しくは地域医療連携室までお問い合わせください。



# チーム医療でサポート

回復期は集中的なリハビリテーションによって最も機能回復に期待ができる時期です。良質な入院医療サービスを提供するために、専門知識と技術を持った医療スタッフがチームを組んでADL（日常生活動作）向上や家庭復帰に向けて支援します。

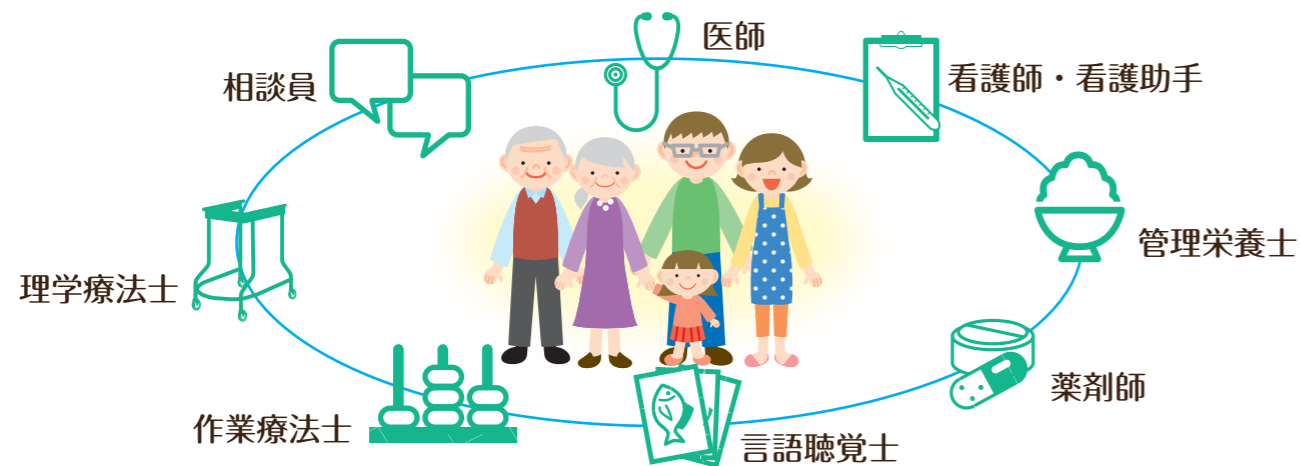
各医療専門職がチームを組んで、食事、排泄、着替え、歩行、言語コミュニケーション、入浴など日常生活動作を身につけるための支援を行います。

病棟のケアに加えて、リハビリ訓練室では、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）により、個々の症状に応じた集中的なリハビリが実施されます。

医師、看護師、介護士、薬剤師、ソーシャルワーカーなどが一つのチームを構成し、退院まで援助していきます。



自主トレーニングルーム



## ■看護師・看護助手

起床から始まる日常生活動作（整容、更衣、トイレ、食事、入浴など）の手伝いや、患者さんの体調管理、身の回りのお世話をします。

## ■薬剤師

患者さん一人ひとりに応じたお薬の説明を行い、疑問にお答えし、内服管理法を提案します。

## ■管理栄養士

医師の指導のもと、生活習慣、食習慣、嗜好、体の具合を考慮して、栄養指導を行います。

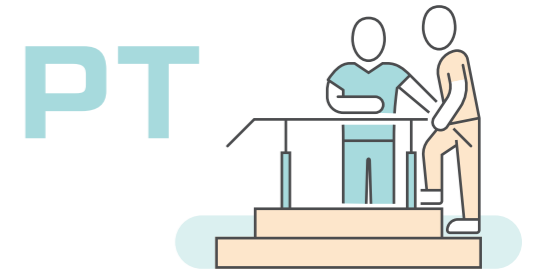
## ■相談員

患者さん・ご家族、担当ケアマネジャー、当院スタッフ間の調整にあたります。また、障害認定や介護保険等の手続き、治療費、転院や施設入所などの相談もお受けいたします。

## ● 理学療法士

### Physical Therapist

「起き上がり」「立ち上がり」「移乗」「歩行」などの生活に必要な基本動作能力の回復を図るために、運動療法、物理療法、動作訓練などのリハビリを行います。また、能力障害が残ったときには、基本的動作や日常生活活動を改善するための指導、福祉用具の選定や住宅改修・環境調整も提案します。

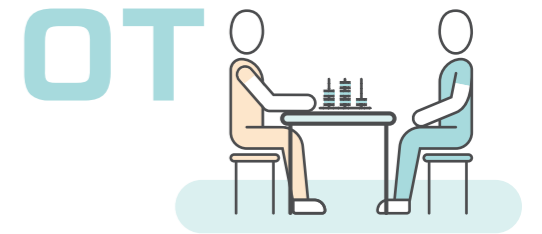


リハビリテーション室

## ● 作業療法士

### Occupational Therapist

主に手や腕を中心とした身体機能の改善、食事やトイレ動作などの日常生活動作のリハビリなど、より自立した生活に向けた応用的動作能力や社会的適応能力の回復を図ります。また、料理や趣味の獲得など退院後も活動的な生活を送ることができるよう配慮していきます。

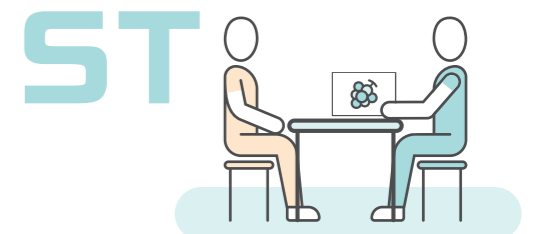


リハビリテーション室

## ● 言語聴覚士

### Speech-Language-Hearing Therapist

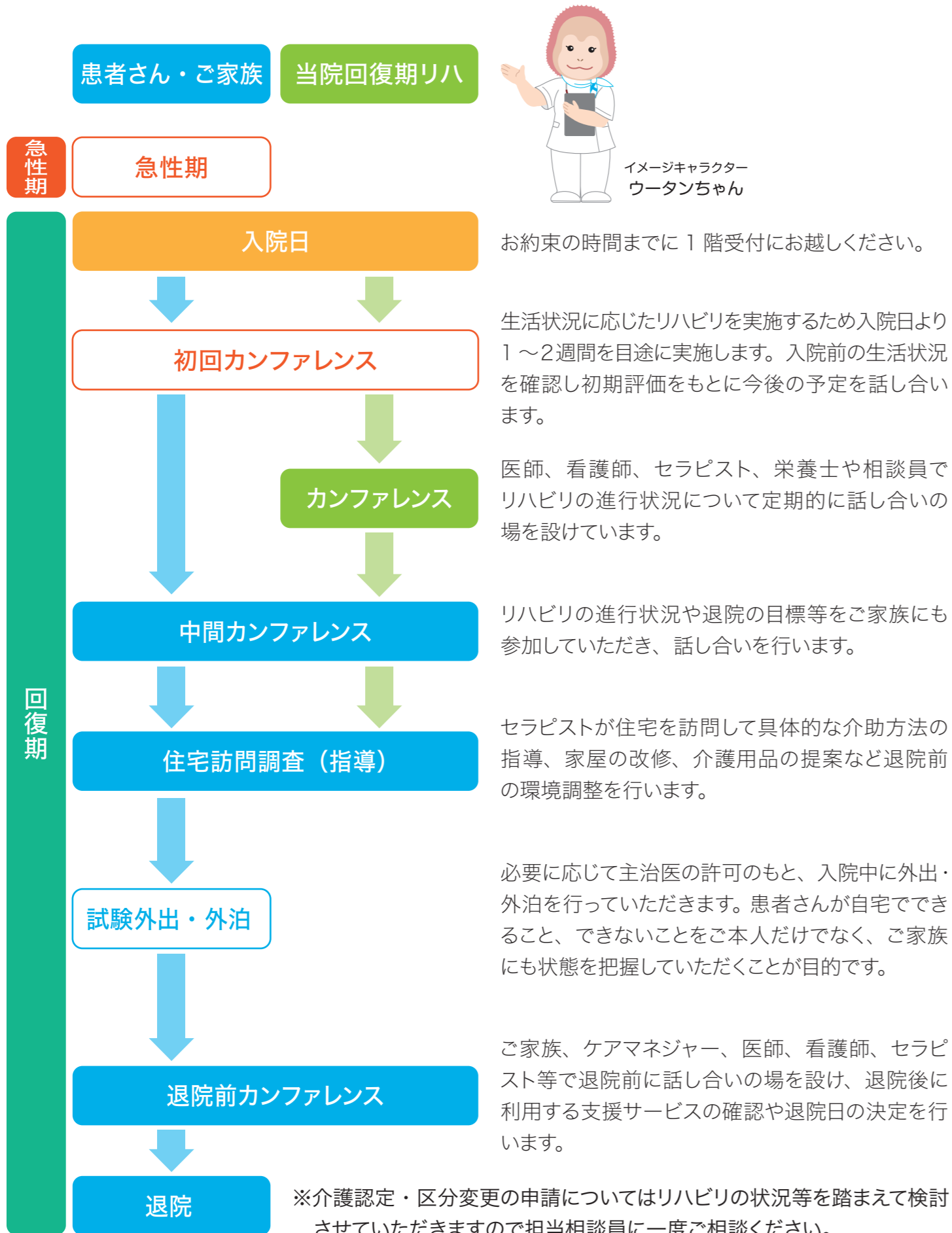
言葉が出てこない（失語症）、呂律が回らない（構音障害）、ご飯が飲み込みにくい（嚥下障害）といった、主としてコミュニケーション機能の低下に対して、機能の獲得や維持・向上を図り、生活の質の向上を支援します。



言語聴覚室

# 入院から退院までの流れ

# 「リハビリテーション」と「生活の場」としての病棟



## 病棟で過ごす患者さんの1日の日程

リハビリテーションの時間だけでなく、起床は起居動作練習、洗顔は整容動作練習といったように、病棟での生活すべてが、退院後の生活を想定した時間となります。

**午前** 起床・洗顔・更衣  
朝食  
更衣・体調チェック  
入浴・リハビリテーション  
昼食

**午後** 体調チェック・リハビリテーション  
更衣・夕食  
歯磨き・就寝準備・更衣  
就寝

- 食事、入浴、排泄など日常生活の援助をしています。
- 口腔ケア、排泄介助、おむつ交換、体位交換、痰吸引など適宜行っています。
- 1日の日程の内容は日によって変わる時があります。
- 外出・外泊の際は担当医の許可が必要になります。必ず看護師や医師にご相談ください。

## 地域医療連携室について

医療費、介護保険、福祉制度などのご利用相談は1階地域医療連携室にて相談員が対応致します。

● 地域医療連携室 担当相談員は \_\_\_\_\_ です



ご不明なことがございましたら、遠慮なくご相談ください。

相談受付

月曜日～金曜日 8:30～17:00  
(土曜日・日曜日・祝日は休み)

